



北海道地域福祉学会ニュース No.45

発行日：2015年10月10日

編集：北海道地域福祉学会広報委員会（委員長 忍 正人）

2015年度全道研究大会の開催について

2015年11月14日（土）、北海道地域福祉学会全道研究大会を北星学園大学にて開催いたします。本年度は、大津市社会福祉協議会の山口浩司氏による基調講演『地域福祉におけるコラボレーション～大津市社協の取組みから～』とシンポジウム『地域福祉における多職種・多業種連携～社会福祉協議会における生活困窮者支援を中心に～』では3名のシンポジスト（井口博氏：大津市社会福祉協議会地域支援グループリーダー・CSW、中村健治氏：北海道社会福祉協議会 おしま Hot かないセンター所長・主任相談員、明石吉史氏：富良野市社会福祉協議会地域支援課長）による報告と井口氏をコーディネーターとした質疑を予定しております。詳しいスケジュール等は別途お送りしております資料をご参照下さい。

研究発表・実践報告発表希望者・研究大会参加ご希望の方は、参加確認書に必要事項をご記入の上、自由研究報告・実践研究報告のタイトルの申請締め切りは10月26日（月）、プログラムの公開は10月30日（金）、参加申し込み締め切りは11月10日（火）となっております。WEB申込、Eメール、FAXにてお申し込みください。皆さまどうぞふってご参加下さいますようお願い申し上げます。

にちじ 2015年11月14日（土）
11時から17時30分まで
ところ 北星学園大学 第2研究棟地下1F
(札幌市厚別区大谷地西2-3-1)

内容 10:30 受付
11:00 自由研究発表・実践報告発表
13:00 昼食・休憩
13:50 開会、基調講演
15:15 休憩
15:30 シンポジウム
17:30 閉会
18:30 交流会

【報告】第2回定例研究会を開催しました

2015年9月26日（土）北星学園大学を会場に開催された第2回定例研究会には一般社団法人北海道介護支援専門員協会会長村山文彦氏に「地域包括ケアシステムをめざす多職種連携の課題～介護支援専門員の今日的な役割」というテーマのもとご講演いただきました（参加者28名）。

昨今の社会福祉・社会保障政策における2025年問題、2045年問題が住み慣れた地域で暮らし続けるための地域包括ケアシステムの推進・構築に与える影響についてご教授いただき、その中で介護支援専門員（ケアマネジャー）はもともと他職種混合であることから基礎資格として有する専門性やケアマネジメントを進めていく役割を有している一方で、政府が求める機能との間で葛藤やギャップが生じているのではないかと問題提起をいただきました。



▶ 事務局より

☑北海道地域福祉研究第18巻の発行

2014年度よりホームページ上に掲載されることとなりました北海道地域福祉研究第18巻が北海道地域福祉学会のホームページに公開されました。この度、ご投稿いただいた会員の皆さまにはお時間を頂戴いたしまして、大変ご迷惑をおかけいたしましたことを改めてお詫び申し上げます。今回は研究論文7本、実践レポート2本が掲載されております。ダウンロードの方法につきましては、別途お送りしております資料をご参照ください。

是非今後の研究、実践活動にお役立ていただけますよう、ご報告申し上げます。

論文

1. 戦後日本の障害幼児支援における北海道「マザーズ・ホーム」の展開過程の特質—肢体不自由児教育・福祉、言語障害児教育とのつながりを踏まえて—
田中 謙（山梨県立大学人間福祉学部）
2. 高齢者・障害者の屋外移動支援のための福祉有償運送制度の現状と課題
棚橋 嘉美（北海道科学大学保健医療学部）
難波 志帆（北海道科学大学保健医療学部）
鴨志田 麻実子（特定医療法人平成会 平成会病院）
3. 移動能力が高い地域高齢者の閉じこもりに関連する要因
水口 和香子（旭川市末広・東鷹栖地域包括支援センター）
藤井 智子（旭川医科大学医学部）
4. 認知症の家族介護における社会福祉専門職の支援に関する一考察—北海道認知症の人を支える家族の会会員への調査から—
黒澤 直子（北翔大学生涯スポーツ学部）
5. 在宅脳卒中患者における日常生活動作能力の現状と対策について
難波 志帆（北海道科学大学保健医療学部）
棚橋 嘉美（北海道科学大学保健医療学部）
鴨志田 麻実子（特定医療法人平成会 平成会病院）
6. 生活支援に関する複合拠点としての地域食堂の可能性
杉岡 直人（北星学園大学社会福祉学部）
畠山 明子（北星学園大学社会福祉学部 非常勤講師）
7. コープくらしの助け合いの会の組織論的考察—生活協同組合の理念と生活支援サービスの関わり—
畠山 明子（北星学園大学社会福祉学部 非常勤講師）
杉岡 直人（北星学園大学社会福祉学部）

実践レポート

1. 色彩とハンドケアを活用した明日の地域を支える人材づくり—地域コミュニティの活性化支援事業の実践—
外崎 由香（一般社団法人彩メイクケア協会）
篠原 辰二（一般社団法人 Wellbe Design）
2. 苫小牧市社会福祉協議会権利擁護支援センターの取り組み—日常生活自立支援事業から考える社協活動—

櫻井 宏樹（社会福祉法人苫小牧市社会福祉協議会 権利擁護支援センター）

☑日本地域福祉学会設立30周年記念全国大会

2016年の全国大会は6月11日（土）、12日（日）に日本社会事業大学で開催予定です。

☑会員状況（2015年10月10日まで）

【新規入会（敬称略、入会順）】なし

現会員数：127名

☑業務委託や講師等の派遣調整を行います

本学会では、学会役員及び会員の研究活動を社会還元するため、各種の業務委託や講師派遣等を実施しています。事務局において調整やご相談に応じておりますので、各方面への周知協力並びに事業へのご協力をお願いいたします。

2013年度には登別市社会福祉協議会、新ひだか町社会福祉協議会の各事業に講師を派遣したほか、2014年度には、北海道社会福祉協議会が主催する「ボランティア担当市区町村社協向け相談会」（全3回）に対し、アドバイザーを派遣しています。

☑学会費の納入をお願いします

学会規約に基づき会費は年額5,000円、会費を2年以上滞納した会員は理事会にて退会したとみなすことができると定められておりますが、より多くの会員の皆様と共に北海道の地域福祉研究を推進するため、会費の納入にご協力をお願いいたします。

ご連絡がない状態が続きますと退会となり、再び会員登録を行う際には未納分の納入をご依頼することとなりますので、ご注意願います。

☑会員情報の変更をご連絡ください

勤務先や所属先、役職等、会員情報登録に変更があった場合は、事務局にご連絡をお願いいたします。会員情報の変更用紙は学会ホームページよりダウンロードが可能です。

☑2015年度学会行事予定

全道研究大会 11月14日（土）

第3回定例研究会 2月13日（土）

☐事務局（事務局員：篠原・佐藤・畠山）

〒004-0022 札幌市厚別区厚別南2丁目7-28

一般社団法人 Wellbe Design 内

TEL：011-801-7450

FAX：011-801-7451

Eメール：info@hacd.jp

URL：http://www.hacd.jp